



山形県庄内町

立谷沢川流域
散策
清流と歴史
美のまなこ
手帖



おかえり、
やさし〜心のふるさとへ。

輝きたたえる

水のしらべ

彩りかなでる

四季の山なみ

時をこえ

美しさをまとい

おだやかにたたずむ里は

どこまでもやさしく

あなたを包みこみます

初夏の月山と立谷沢川



P.23

旅の思い出スタンプ



P.19

月の沢温泉 北月山荘



P.13

歴史の里 清川



P.11

清河八郎 回天の道



P.9

羽黒古道



P.7

名水 立谷沢川



P.5

霊峰 月山



P.3

立谷沢川流域
マップ

立谷沢川 流域マップ



「おもな龍神碑」



①龍神供養碑(鉢子)



②龍神供養塔碑(中村)



③龍神碑(科沢)



雪上の登山道



月山開山祭

月山山頂の町「庄内町」

山頂に鎮座する月山神社本宮には、守護神、月読命が祀られています。月山山頂からの眺めは、庄内平野はもちろん、鳥海山、朝日飯豊連峰、遠く岩木山、八幡平までも望むことができます。

庄内町では、毎年7月1日の月山開山祭に参拝を行っています。そして、開山シーズンの夏に4、5回「霊峰月山登山・月山神社参拝ツアー」を開催し、月山山頂へ皆さんをご案内しています。



月山

雲の峯
いくつ崩れて
月の山
芭蕉

月山神社と雲海に浮かぶ鳥海山頂

庄内町の最高峰

R4マップA-15

出羽三山の主峰・月山の標高は、一九八四メートル。険しい岩肌となだらかな高原をあわせ持ち、参拝やトレッキングで国内外から多くの人が訪れます。

月山は、羽黒山・湯殿山と三山をなし、山岳信仰の聖地となっています。また、松尾芭蕉も訪れ俳句をいくつか詠んでいます。

山頂では、町の花クロユリが見られ、希少な高山植物がそこかしこに、可憐な花を咲かせます。

月山登山マップ(羽黒口)



チングルマ



チョウカイキスゲ



庄内町の花クロユリ

立谷沢川

Tachiyazawagawa



鳥海山をのぞみ最上川へと注ぐ

平成の名水百選

庄内町の頂^{いたadaki}・月山を水源とする立谷沢川は、出羽の山あい豊富な湧水を集めながら北流して最上川に合流する、全国有数の清流です。平成の名水百選に選出された立谷沢川流域は、山岳信仰や最上川舟運の歴史と文化に彩られた、水と緑の里です。

四季折々の魅力をかたどる山河の屏風絵をくぐり抜ければ、山紫水明の眺望と効能あたらかな湯宿「月の沢温泉北月山荘」が、心身をほぐしてくれます。

※平成の名水百選とは、水質のよさを保ち、暮らしに溶けこんだ湧水や河川など全国百ヶ所を、環境省が平成二十年六月に選定したものです。



春：立谷沢川から眺む月山



秋：錦秋の立谷沢川

いにしえへと誘う立谷沢川

立谷沢川はその昔、羽黒の神の御手洗(清めの水)として尊ばれ、上流には修験の秘所があります。羽黒古道の「皇野」や「元羽黒」は、蜂子皇子が修行を重ねて修験道を広めた、羽黒山本社創建の地であったとされます。最上川舟運でにぎわった清川には、芭蕉の上陸、義経の滞在、清河八郎の生誕といった歴史や文化、伝説が息づいています。

また、コシヒカリや山形県の新ブランド「つや姫」といったおいしい米のルーツ「亀ノ尾」の原種が発見されたように、立谷沢川流域の豊かな自然と風土は、たくさんの宝物を育みました。



ボート遊び

P4マップ B-1



ゴムボートを使って、立谷沢川を下ります。大人も子どももスリル満点、大はしゃぎ!

- 大中島自然ふれあい館・森森 ☎0234-59-2225
- 5月～10月/8:30～17:00
- 料金/ひとり200円 ※要予約
- 館内宿泊、キャンプもできます。

フィッシュギャラリー

P3マップ C-4



最上川さみだれ大堰・フィッシュギャラリーで、魚道を泳ぐ自然の魚を窓越しに観察することができます。

- 酒田河川国道事務所鮎海出張所 ☎0234-57-2077
- 9:00～16:30 (冬期間は平日のみ)
- 入館料/無料

魚のつかみどり

P4マップ B-1



立谷沢川のきれいな水で育ったイワナやヤマメを見て、触れて、その場で食べることもできます。

- 淡水魚養殖施設 ☎0234-59-2234
- つかみどりは冬期間休み
- 料金/一匹160円～ ※要予約

砂金掘り

P4マップ B-2



砂金で栄えたことで知られる瀬場集落の南部山村広場で、昔ながらの方法で砂金掘り体験ができます。

- 庄内町商工観光課 ☎0234-56-2213
- 冬期間休み
- 体験料/ひとり2,000円～ (5名様より体験可能)
- 要予約

羽黒山

羽黒古道

Haguro Kodo



西の伊勢詣り
東の「出羽三山奥詣り」

出羽三山は西の伊勢詣りに対し、東の奥詣りと称され、古来よりにぎわっています。

日本三霊場のひとつである出羽三山は、鶴岡市由良にたどり着き、三本足の鳥からすに導かれた蜂子皇子によって、約一四〇〇年前に羽黒山、月山、湯殿山の順に開かれたとされます。

参詣道者は、羽黒山で現世の幸せを祈り、月山で死後の浄化を願い、湯殿山を参拝して生まれ変わることを願っているのです。

羽黒山伏の荒行「秋の峰入り」が今なお受け継がれ、山岳信仰の聖地として、多くの参詣者や参託者を集めます。

羽黒古道トレッキングガイド [羽黒山修験道を守る会]

史跡や草花をはじめ、山の歩き方や暮らしの話など、楽しく登山をガイドします。皇野窯の炭も販売しています。

コース案内

- ・羽黒山頂コース (鉢子～羽黒山頂) : 約2時間
- ・羽黒山往復コース (鉢子～羽黒山頂～鉢子) : 約4時間
- ・羽黒山周遊コース (鉢子～羽黒山頂～科沢・御瀧神社～鉢子) : 約4時間



- 庄内町商工観光課 ☎0234-56-2213
- 基本的に土・日・祝日対応
- ガイド料 / 4,000円～ ※要予約

鉢子登山口からのぞむ月山

祈りの道 P3マップ C-2 ①

立谷沢川流域は、江戸時代まで出羽三山詣りの表参道として賑わいました。参詣者は、奈良時代から最上川舟運の水駅として栄えた清川で舟を下り、羽黒古道をたどって、はじめの参詣地である羽黒山へ登りました。

義経記には、源義経が平泉へ逃避行する際、弁慶は羽黒山からこの古道を下り、清川の御諸皇子神社で義経一行と合流し一夜を明かしたと記されています。

地域の仲間たちが復活させた羽黒古道は、蜂子皇子ゆかりの史跡や、マンサクといった山野草木に触れながら登ることができます。



出羽三山の開祖 蜂子皇子

羽黒山頂にある墓は、東北地方唯一の皇族の墓として、宮内庁が管理。湯殿山を丑歳に開山したなどの理由から、丑歳に参詣すれば、12回お参りしたのと同じく、大変なご利益があるとされる。出羽三山神社社務所 ☎0235-62-2355



画 / 出羽三山歴史博物館所蔵

出羽三山

- 右：月山神社
- 中：出羽神社 (羽黒山三神合祭殿)
- 左：湯殿山神社

清河八郎 回天の道

Kiyokawa Hachiro
Kaitennomiti



清河八郎記念館

P14
マップ 3

清河八郎は、幕末の志士にしては珍しく百数十点もの史料が残されており、清河八郎の着ていた紋服や肖像画などを間近に見ることが出来ます。自筆の書も多く、当時の情勢を知る書簡が多い中、母や妹に宛てた気持ちのこもったひらがなの手紙や、骨董の売買に関する書簡まで現存し、その人柄が偲ばれます。現在はこれらを解説し、多角的な面からの清河八郎再評価が進められています。



勤皇志士寄書屏風



北辰一刀流兵法免許(上)
北辰一刀流兵法箇条目録(下)

所蔵/清河八郎記念館

回天とは、「天を回すほどの大業」の意味で、新たな時代への一大転換となる大事業を指す言葉です。「回天の道」は、江戸時代から明治時代に繋がる道としています。

■清河八郎記念館 ☎0234-57-2104 ※土日対応可

清河八郎回天の道

清河八郎 回天の道マップ



地蔵の湯
「清河八郎休養の地」石碑



内藤橋



回天の道登山口

魁の道

P3
マップ C-2 1

庄内町清川出身の清河八郎は、「八郎なくして新撰組なし、維新の魁清河八郎」といわれる幕末の志士です。

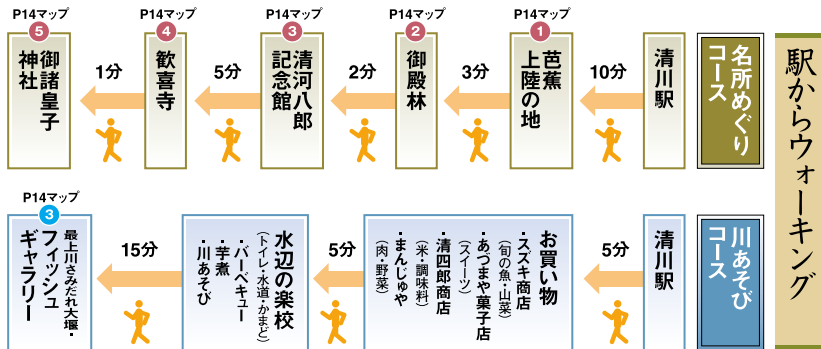
八郎は十八才で学問と剣術修行のため江戸を目指した時清川から六十里越街道に出て江戸へ向かいました。鶴岡市出身の作家藤沢周平氏の小説「回天の門」の記述を参考に、肝煎から横葉山に入り山伏峠を越えて鶴岡市添川に出た峠道を、地元住民が復元、整備。そこを「回天の道」と名付け、トレッキングなどで多くの方々が利用し、八郎の足跡をたどっています。



清河八郎回天の道トレッキング事業



展望台からの眺望(庄内平野が一望できる)



旅の魅力は、ガイドがつくことで格段にアップします。ガイドが地元の方であれば尚のこと。

きよかわ観光ガイドの会

- 庄内町役場立川支所 清川公民館 ☎0234-57-2211
- 庄内町観光協会 (コア・アルザ内) ☎0234-42-2922



歴史の里

御諸皇子神社に所蔵される大絵馬(左)と木造金剛力士立像(右)

歴史の里



清川

Rekishino Sato

川の道

最上川舟運でにぎわった清川には、多くの旅人とともに、源義経や松尾芭蕉も訪れました。義経一行が一夜を明かした御諸皇子神社には、「青葉の笛」や「祈願書」など義経にまつわる数々の品が残されています。芭蕉は清川で舟を下り、羽黒山へ向かいました。

清河八郎を生み、文人墨客を誘ってきたこの地には、特色ある伝統文化が連綿と受け継がれ、夏には彩り鮮やかな「山車」が練り歩く祭りが行われます。



賽の神 (デグ様)



山車巡行



清河神社例大祭 (巫女舞)

松尾芭蕉上陸の地

清川関所跡 P14 マップ ①

元禄二年（二六八九年）、芭蕉は新庄から舟で最上川を下り、清川関所で上陸し、出羽三山に向かいました。舟下りの途中に、有名な「五月雨をあつめて 早し最上川」という句を詠んだとされています。



松尾芭蕉

(1644~94)

江戸時代前期の俳人。十代の頃から俳諧をたしなみ、全国各地を旅して、句を残した。「奥の細道」で没後知られるようになる。

画/江東区芭蕉記念館所蔵



徳尼公ゆかりの大木

妹沢の大イチョウ P4 マップ B-2 ⑥

徳尼公は家臣を従えて、酒田に移り住む前、立谷沢に身を潜めていました。樹齢八〇〇年を超える妹沢の大イチョウは、酒田に移った徳尼公を偲んで、地元の人々が植えたと言われています。



徳尼公

(平安末期〜鎌倉前期)

奥州平泉藤原秀衡の妹・徳の前、あるいは後室・泉の方。戦乱の平泉から36人の家臣に守られて立谷沢に落ちのび、のち酒田に移り、家臣は酒田三十六人衆として酒田の礎を築いたとされる。



清河八郎を祀る神社

清河神社 P14 マップ ⑦・清河八郎記念館 P14 マップ ③

清河神社は、文武両道の神として、清河八郎を祀る神社。鳥居のそばには清河八郎の座像があり、この像は京都壬生の新徳寺で尊皇攘夷を語る姿とされています。隣には清河八郎記念館があり、清河八郎の遺品を保管・展示しています。



■清河八郎記念館 ☎0234-57-2104
■3月~11月/9:00~17:00
■入館料/400円

清河八郎

(1830~63)

清川で生まれ育った幕末の志士。当時の最高学府「東条塾」に学び、北辰一刀流を修めた後、清河塾を開く。新撰組にも深く関わった明治維新の魁。

画/清河八郎記念館所蔵



義経が一夜を明かした地

御諸皇子神社 P14 マップ ⑤

御諸皇子神社は、源義経が弁慶ら一行を従えて、旅の一夜を明かした神社として有名です。その境内には、安土桃山時代の建築といわれる稲荷神社や町指定文化財の木造金剛力士立像のほか、木造狛犬、義経ゆかりの品や大絵馬があります。



源義経

(1158~89)

源義朝の子で幼名は牛若丸。兄・頼朝に追われ、京を出て鶴岡を通り、清川で一夜を明かし、最上川を舟で上ったとされる。

画/岩手県平泉・中尊寺所蔵





叶宮様 (工藤沢) P4マップ B-2 ⑬

道中安全の神を祀っている。石造の祠には三猿の像が大切に守られている。



熊谷神社 (中村) P3マップ C-3 ⑭

由井正雪の慶安事変の際に、過酷な藩政に苦しむ人々を救おうとして活躍した、義民として名高い熊谷三郎兵衛を守護神としている。「亀ノ尾発祥の地」記念碑と「龍神碑」がある。



皇大神社 (肝煎) P3マップ C-2 ⑯

町指定文化財となっている本殿は、梁の上におかれるカエルマタなどから庄内地方に数少ない桃山時代の建築とされる。



観音堂 (生繰沢) P3マップ C-3 ⑩

石造の観音様を祀り、境内には大きなイチヂウの木がそびえ、秋にはじゅうたんのようにイチヨウの葉で一面黄色に染まる。



叶宮猿田彦大神 (清川) P14マップ ⑧

鶴岡市羽黒町川代の叶宮様より勧請したもので、かつては中村集落の熊谷神社参りの道中安全の神として信仰を集めた。



歡喜寺 (清川) P14マップ ④

清河八郎や生家齋藤藤治兵衛の墓、戊辰戦争庄内藩戦死者や天保飢饉義民の墓などがある。市原円潭筆「十二天像屏風」は町指定文化財である。



金浄寺 (大中島) P4マップ B-1 ⑰

京都の浄土宗大本山知恩院の末寺。1830年に火災で全焼、同年再建された。その火災煙で安置されていた阿彌陀如来立像は黒くすすけたため「黒本尊」と呼ばれる。



御瀧神社 (科沢) P3マップ C-2 ⑮

羽黒修験の拝所でもあり、「龍の剣彫り」、「天狗の腰かけ」とよばれる石や「中台の滝」がある。慈賞大師円仁作の不動明王を祀ったことから「中台不動」とも呼ばれる。



昌洞院 (中村) P3マップ C-3 ⑰

白藤山昌洞院は約400年前、狩川にある見龍寺の四世、梅心宗達和尚によって開山された曹洞宗の寺院。立谷沢小学校発祥の地でもある。



満願寺 (肝煎) P3マップ C-2 ⑱

龍神信仰にゆかりのある「龍王堂」があり、読経のときに鳴らす仏具の鑿子(けいす)は町指定文化財となっている。



星宮神社 (片倉) P3マップ C-3 ⑲

星宮神社という社名は大変珍しく、社殿は元禄元年に再建された。かつて丑寅生まれの人たちが多く参詣したとされる。



御殿林 (清川) P14マップ ②

かつて御殿とも御茶屋ともいった庄内藩主の宿泊所があった。戊辰戦争の古戦場でもあり、「鯛(ひぐらし)の二十五年も昔かな」を詠んだ正岡子規の句碑がある。

歴史を紡ぐ 数々の祈り

立谷沢川流域は、南に月山西に羽黒山をかまえ、最上川舟運の関所として栄えた清川を玄関口とし、多くの参詣者を出羽三山へ誘いました。その道のりにある数多くの寺社や祠、石碑には、旅や暮らしの安全、豊作、健康を祈る人々が立ち寄り、今なお参拝者が訪れます。出羽三山や龍神・水神、塞の神といった祈りのかたちは、地域の人々に大切に敬われ、神に供える集落まつりや奉納相撲なども受け継がれています。

熊谷神社に祀られる 熊谷三郎兵衛のお話

義勇の人、熊谷三郎兵衛は中村の御瀧神社に籠り、村人に守られて平穩に暮らしていました。ある時「我を神とし崇めれば、一生の願望は必ず成就するだろう」といい、念仏のカネを携えると、塚の中に入ります。村人は中から聞こえるカネの音に耳をすましては、三郎兵衛が無事であることを喜び合っていました。やがて三郎兵衛が亡くなると、それを悲しんだ村人たちは、塚の上にお堂を建てて熊谷大権現として崇めました。神社を訪れると、現在でもその靈験を感じられます。

月の沢温泉 北月山荘

Tsukinosawa Onsen
Kitagassanso



四季の楽しみ

4月 B-2 ①

宿泊・日帰り入浴ができる、立谷沢川流域の奥座敷にたたずむ隠れ宿。近くには、六淵砂防ダムほとりの南部山村広場、自然を満喫できる宿泊棟ケビンや鶴巻池にキャンプ場、イベントホールを備えた眺望抜群のロッジがあります。北月山荘は、月山登山のベースキャンプの宿として、多くの登山客からご利用をいただいております。



泉質

炭酸ガスを多く含み、ツルツルぽっかぽか、疲労回復に効果大の酸性泉。山形県では蔵王・姥湯と合わせて3ヶ所限定。



鶴巻池



北月山ロッジ



北月山ケビン

滋味豊かな 地元料理

主婦レストラン「やまぶどう」では、四季折々の心のこもった料理でおもてなしいたします。

使用する食材は、地元で採れた旬の山菜やきのこ、立谷沢産のお米「つや姫」や「ひとめぼれ」、新鮮な採りたての野菜といった地産の素材が100%です。食材本来の味を大切にしながら、どこか懐かしい感じがする「母の味」、「本当の味」、「本物の味」をお客様に提供しております。
※毎週火曜日定休



「やまぶどう」の名物料理
清流育ちの「イワナの塩焼き」
沢水で育った最高の「米」と「餅」
地元で採れた「山菜」や「野菜」
天然の環境で育った「ジュンサイ」
「おもてなし」と「笑顔」



イワナの炭火焼



豊富な山菜



お弁当も作ります



フワフワの餅は絶品

月の沢温泉北月山荘

〒999-6609 山形県東田川郡庄内町立谷沢西山1-67
TEL&FAX0234-59-2137
E-mail kitagassanso@town.shonai.yamagata.jp
URL <http://www.navishonai.jp/kitagassan/index.html>



プナの水音／月山のプナ林の自然フィルターでろ過されたミネラルウォーター



いきいき米／立川有機米研究会の皆さんが丹精込めて作ったお米



モクスガニ／最上川と立谷沢川へ春秋くだってる上海ガニの仲間



つる細工／山ブドウのつるで丁寧に編み上げたカゴ



清河八郎関連グッズ／絵葉書やDVDなどを記念館でお求めになれます

立谷沢川流域の 歳時記



- | | | | | | | | | | | |
|-----------------|----------------------|---------------------|--------|---|--|---|-----------------|---------------------------------|---------------|---|
| 3月 | 2月 | 1月 | 11月 | 10月 | 9月 | 8月 | 7月 | 6月 | 5月 | 4月 |
| ◆ 上旬 | ◆ 下旬 | ◆ 1日 | ◆ 中旬 | ◆ 下旬 | ◆ 11日 | ◆ 13日 | ◆ 1日 | ◆ 中旬 | ◆ 5日 | ◆ 上旬 |
| 渓流釣り解禁(9月30日まで) | 月の沢龍神街道スノーアートフェスティバル | サクラマス竿釣り解禁(9月30日まで) | 秋まつり興屋 | 秋葉山例祭日清川
庄内まるごとトレッキング
立谷沢口登山・羽黒古道 | 熊谷神社例大祭 中村
星宮神社例大祭 片倉
集落まつり 新田
御茶屋稲荷神社例大祭 清川
皇大神社例大祭 瀬場
集落まつり 大巾島 | 夏まつり 中島
御諸皇子神社例大祭 清川
山車巡行 清川
皇大神社例大祭 肝煎
御瀧神社例大祭 科沢
羽黒修験「秋の峰入り」瀬場 | 月山開山祭(9月15日閉山祭) | 立谷沢川美化活動 立谷沢地区
殿様街道(板敷越峠)草刈り | 清河八郎顕彰剣道大会 清川 | 春まつり興屋
集落まつり 生繰沢
秋葉山例祭日 清川
集落まつり 松野木 鉢子
堂詣り 木ノ沢 |
| | | | | | | | 松野木 肝煎 | | | |



月の沢龍神街道スノーアートフェスティバル

冬



庄内まるごとトレッキング

秋



龍神月山

夏



立谷沢川美化活動

春



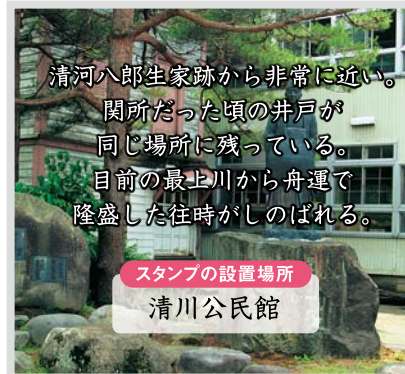
恵信筆釈迦三尊画幅、
山岡鉄舟書大幅、
高橋泥舟書太幅、
清河八郎書簡など
多くの寺宝がある。

スタンプの設置場所

お寺の中

旅の思い出
スタンプ4

歓喜寺



清河八郎生家跡から非常に近い。
関所だった頃の井戸が
同じ場所に残っている。
目前の最上川から舟運で
隆盛した往時がしのばれる。

スタンプの設置場所

清川公民館

旅の思い出
スタンプ1

松尾芭蕉



旅の思い出
スタンプ5

熊谷神社



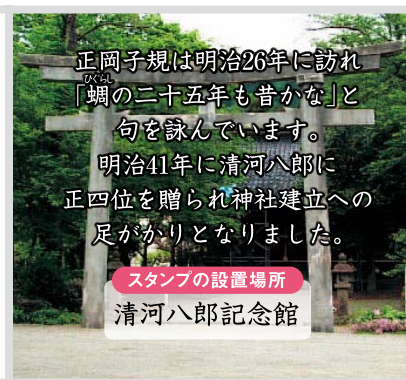
熊谷神社と羽黒山と
白狐山光星寺を巡ると
良縁が得られるといわれている。
ほかにない珍しい松がある。

スタンプの設置場所

神社社務所

旅の思い出
スタンプ2

清河神社



正岡子規は明治26年に訪れ
「のた鯛の二十五年も昔かな」と
句を詠んでいます。
明治41年に清河八郎に
正四位を贈られ神社建立への
足がかりとなりました。

スタンプの設置場所

清河八郎記念館



北月山荘から
少し歩いた場所にある
鶴巻池は抜群の景観です。
映画のロケ地にも
なっています。

スタンプの設置場所

北月山荘

旅の思い出
スタンプ6

北月山荘



庄内藩主酒井氏の崇敬社であり、
寛文2年に社殿を再建、
元禄13年に神楽殿を造営され、
増改修の費用は藩費で賄われたと
伝えられます。

スタンプの設置場所

神社社務所

旅の思い出
スタンプ3

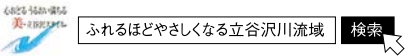
御諸皇子
神社



立谷沢川流域へのアクセス

- 東京方面からお越しの方
 - 電車 (JR) で約4時間
 - 東京 (上越新幹線) 新潟 (羽越本線) 余目 (陸羽西線) 清川 (約2時間) (約2時間) (約15分)
 - 東京 (東北新幹線・山形新幹線) 新庄 (陸羽西線) 清川 (約3時間) (約50分)
 - 飛行機で約2時間
 - 羽田空港 — 庄内空港 (バス45分) 余目方面 (タクシー30分) (約1時間)
- 仙台方面からお越しの方
 - 高速バスで約3時間
 - 仙台駅前 (高速バス) 酒田 (羽越本線) 余目方面 (陸羽西線) (約3時間) (約15分)

お問合せ先
山形県庄内町
商工観光課立谷沢川流域振興係
 〒999-6601
 山形県東田川郡庄内町狩川字大釜22番地
 TEL.0234-56-2213 / FAX.0234-56-2628
 E-mail / shokokanko@town.shonai.lg.jp



立谷沢川流域をもっと楽しむ旅の情報

	名称	電話番号	ワンポイント情報	HP・ホームページ	頁
主な施設	熊谷神社	☎0234-59-2204	「亀ノ尾発祥の地」としても有名。		18
	昌洞院	☎0234-59-2103	「彼岸の旅路」の庭は必見。	[HP]	18
	清河八郎記念館	☎0234-57-2104	清河八郎の遺品の数々をみることができます。	[HP]	16
	御諸皇子神社	☎0234-57-2630	義経一行が一夜を明かした神社。		16
	歓喜寺	☎0234-57-2134	清河八郎の墓はこちらにあります。		17
	淡水魚養殖施設	☎0234-59-2234	イワナ・ヤマメのつかみどりや塩焼きができます。		8
	最上川第八漁業協同組合	☎0234-57-2480	釣りを楽しむ情報や遊漁券はこちらで。		22
	最上川さみだれ大堰・フィッシュギャラリー	☎0234-57-2077	国土交通省東北地方整備局 酒田河川国道事務所鮎海出張所内	[HP]	8
	月の沢温泉 北月山荘	☎0234-59-2137	和とモダンの心温まる湯宿。	[HP]	19
	宿泊・体験	大中島 自然ふれあい館・森森	☎0234-59-2225	春夏秋冬の楽しい自然体験メニューはこちら。	[HP]
羽黒山修験道を守る会		☎0234-56-2213	羽黒古道トレッキングガイド		10
グリーン・ツーリズム 教育旅行等実行委員会		☎0234-43-4312	農家民泊や田舎暮らし体験ができます。事務局: (株)日本海トラベル		
舟下り	最上峡芭蕉ライン観光 (株)	☎0233-72-2001	戸沢藩船番所からの舟下りは風情ゆたか。		
	最上川船下り 義経ロマン観光	☎0234-57-2148	舟下りで訪ねる「縁結びロード」が大人気。		
タクシー	余目タクシー	☎0234-43-2411	余目駅から徒歩すぐ。	[HP]	26
	立川タクシー	☎0234-56-2128	狩川にある流域最寄りのタクシーです。		26
バス	町営バス	☎0234-42-0163	駅や集落、月の沢温泉を結んで走ります。	[町HP]	
	庄内交通 (株)	☎0235-22-2600	酒田・鶴岡へのアクセスや高速バスご予約に。	[HP]	26
観光バス	関東観光バス (株)	☎0234-45-0234	団体旅行の際はぜひご利用ください。		
	松山レンタカー	☎0234-56-2440	大型バスからレンタカーまで各種ご利用できます。	[HP]	
	関東自動車興業 (株) 関東レンタカー	☎0234-43-2244	余目駅までの配車もいたします。	[HP]	
おみやげ	スズキ商店	☎0234-57-2344	旬の魚や山菜を販売。アユやモズガニは絶品。		14
	あづまや菓子店	☎0234-57-2087	人気のバナナボートはもちろん、どら焼きも美味。		14
	鈴木商店	☎0234-59-2206	お菓子や雑貨。懐かしい昭和レトロなお店です。		3
	風車市場	☎0234-56-3039	農家のとれたて野菜や果物、山菜、手づくりスイーツの直売所。		
	JA庄内たがわ立川支所	☎0234-56-2077	「いきいき米」や特産品のご注文はこちらへ。		22
	JA庄内たがわ立川支所 立川加工所	☎0234-56-3900	「ブナの水音」のご注文はこちらどうぞ。		22
	いすゞや商店	☎0234-56-2018	山ブドウのつるでつくったカゴは逸品。		22
あまるめホットホーム	☎0234-43-3900	庄内町の定番みやげは余目「駅ナカ」で。	[HP]	26	

※隣接市・村情報を含みます。 2012年11月現在



美 立谷沢スタイル
design of life

Japan, beauty, Tachiyazawa

「立谷沢スタイル」は、こころといのちを大切に
する、誇りと自信に満ちた、美しい、わたしたちの
生き方です。

立谷沢川は、かつて暴れ川としておそれられ、
その荒ぶる様は龍に見立てられました。
この表紙は、その龍神伝説と立谷沢川を
モチーフとしてデザインされています。